



平成 26 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 ソースネクスト株式会社  
代 表 者 代表取締役社長 松田 憲幸  
(コード番号 4344 東証第一部)  
問 合 せ 先 アドミニストレーショングループ  
取締役常務執行役員 青山 文彦  
電 話 番 号 03-6430-6406

### 平成27年3月期 第2四半期連結累計期間の業績予想と 実績との差異に関するお知らせ

平成26年5月14日に公表した平成27年3月期 第2四半期累計期間の業績予想と、本日公表した当該期間の実績に差異が生じたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 27 年 3 月期 第 2 四半期累計連結業績予想と実績の差異 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,899	566	565	514	16.23
今回実績 (B)	2,755	608	616	692	21.84
増減額 (B-A)	△144	42	51	178	—
増減率 (%)	△5.0	7.4	9.0	34.6	—
(ご参考)前年同期実績 (平成 26 年 3 月期 2 四半期)	2,634	517	503	575	18.14

※当社は、平成 25 年 9 月 1 日付けで普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行なっております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行なわれたと仮定して、1 株当たり四半期純利益金額を算定しております。

#### 2. 差異の理由

当第 2 四半期連結累計期間の営業利益、経常利益は、KDDI 株式会社の「au スマートパス」や株式会社 NTT ドコモの「スゴ得コンテンツ」等、スマートフォン向けアプリによる付加価値の高い自社開発製品の売上が好調だったこと、販売費及び一般管理費の削減に努めたこと等により、予想を上回りました。四半期純利益は、繰延税金資産の回収可能性の検討の結果、法人税等調整額が減少し利益が増加したことにより、予想を上回りました。なお、第 2 四半期連結累計期間における営業利益、経常利益、四半期純利益としては 2 年連続で過去最高益となりました。また、四半期純利益が 6 億 92 百万円になったことで、繰越損失が全額解消され、利益剰余金は 88 百万円となりました。

#### 3. 通期業績予想

現時点において通期連結業績予想の変更はありませんが、今後の市況や業績動向を踏まえ、修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

以上